

# 患者の皆様へ

2015年9月17日

婦人科

現在、婦人科では、「多嚢胞性卵巣症候群を合併した若年子宮体癌患者」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では若年子宮体癌の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「多嚢胞性卵巣症候群を合併した若年子宮体癌患者の調査研究」

2. 研究の意義・目的 「多嚢胞性卵巣症候群が子宮体癌の予後に影響を与えているかを調べる」

3. 研究の方法 2009年1月から2014年12月までに治療を開始された若年子宮体癌患者さんの診療録に記載されている既往歴、家族歴、血液検査値、画像所見などから患者背景と治療予後の関連を調べる。

研究実施期間：2021年3月まで

研究に用いる情報：カルテ番号、病歴、病理診断、治療方法、再発部位 等

## 4. 情報の公表

本研究で得られた結果は学会または論文として公表されることがあります。

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さん

に不利益が生じることはありません。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院婦人科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院婦人科

医師 植原 貴史

**研究責任者** : 千葉大学大学院医学研究院 生殖医学

教授 生水 真紀夫

043 (222) 7171 内線6893 (婦人科受付)